

学校便り 1月



薩摩川内市立海陽 中学校

令和3年1月25日発行 No.9

<http://www.edu.satsumasendai.jp/kaiyou-j/>

千里の道も一歩から

校長 前田真喜子

三学期は、寒波によるうっすらと雪景色でのスタートとなりました。保護者の皆様には、寒さの中での登校指導誠にありがとうございました。

また先日は、2年生の立志のつどいを来賓の方々のご臨席の下実施することができ感謝申し上げます。子供たちは、各々の座右の銘とも言うべき4字熟語と、日頃の自分を振り返り更なる向上を目指して一人一人力強く決意表明を行いました。その成長した姿に、保護者の皆様も、感慨深かったのではと拝察します。

さて、先日大学入試センター試験に代わる初めての大学入学共通テストが実施されました。分析所見等によると、日常生活の場面を取り上げ、考える力を問うなどの新しい傾向が見られたこと、具体的には、設問は長い文章を読み込み、グラフや図と関連付けながら答える内容が多く、確かな知識と技能を素にした思考力や判断力、表現力が問われる内容であったことが述べられています。このような傾向は、鹿児島県公立高校入学検定試験（高校入試）においても、ここ近年に見られる問題傾向で、ある程度の分量のある問題文（昨年度数学では1ページ強）を理解し、図や表から必要な情報を的確に読み取り答えるなどほぼ共通テストの出題と同様です。読解力については、本校でも課題であり、今後の学力向上の大きな鍵とも言えます。このように読解力も含め多角的な力を身につけるために、ある大学の教授は1日1つ新聞の記事をスクラップし図表を見ながら購読することを進めていました。まさに小さな積み重ねが実を結ぶ取組です。

いよいよ3年生が私立受験に向けて出発します。人生をかけた初めての大きなチャレンジです。それぞれ残された中学校生活は異なりますが、子供たちが掲げた夢に向かって邁進し、「島立ち」に向けて自立の力を育成するという共通の願いのもと、ともに連携して頑張りましょう。

本年も前学期同様教育活動へのご理解とご協力よろしくお願いします。

三学期始業式

1月8日、三学期始業式が行われました。

三学期は、生徒一人一人の振り返り、

良かったところ、反省すべきところを見つけて、

新年に目標を定め、

新たに目標を定め、

1年生の各々が、

1年生の各々が、

1年生の各々が、

1年生の各々が、

1年生の各々が、

1年生の各々が、

1年生の各々が、

1年生の各々が、

1年生の各々が、



「忘れたものがないようにしたいです。」、2年生の日笠山愛さんは、「苦手な教科を克服したいです。また、勉強はもちろんのこと、運動やピアノなど一生懸命取り組みたいです。」、3年生の四角さやかさんは、「宿題とプラスαの学習に取り組みます。勉強と休みの時間のけじめをつけて、時間を有効に使うようにしたいです。また、体調管理をしっかり行い、生活リズムを確立し、万全の状態の入試に臨みたいと思います。」と3学期の目標を立てました。充実した3学期になるように頑張りたいと思います。

新生徒会スローガン決定

第41期生徒会スローガン

繋ぐ

～ Do our best at everything ～

新生徒会のスローガンです。これまでに築きあげてきた海陽中の伝統や精神だけでなく、海陽中の生徒としての誇りも引き継いでいきたいという気持ちが込められています。生徒会活動を継承し、さらに素晴らしい校風を築き上げてほしいものです。

《学校評価》

2学期末に実施しました保護者アンケートの結果については次の通りでした。

	質問内容	平均
1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	3.2
2	学級活動や道徳の時間は、子どもの生活に役立っている。	3.2
3	学校は、子どもの立場に立ってわかりやすく教科指導をしている。	2.5↑ (0.3)
4	積極的な小中一貫教育活動が実施されているか。	3.2
5	小中一貫教育は、ふるさとを知り、愛し、将来にわたってふるさとに貢献しようとする子どもの育成が図られているか。	2.7↑ (0.3)
6	学校は、学校(学級)の様子や子どもの様子をよく伝えている。	2.7↑ (0.4)
7	毎学期の授業参観は、子どもの様子を知るうえで有意義である。	3.3
8	子どもは、学校行事を楽しみに積極的に参加している。	3.1
9	毎朝の「朝読書」の時間は、子どもにとって有意義である。	3.1↓ (0.3)
10	毎朝の「朝学習」の時間は、子どもにとって有意義である。	3.1
11	子どもは、家族や地域の方々元気よくあいさつしている。	3.4
12	学校は、子どもの悩み等に親身になって相談にのっている。	3.0↑ (0.3)
13	部活動や地域行事は、子どもにとって有意義である。	3.3
14	学校は、生き方や進路についての情報をよく知らせている。	3.1↑ (0.5)
15	学校は、学習しやすい環境づくりをしている。(教室・校庭・体育館等)	3.3
16	学校は、保護者や地域の方々と交流を図り、気軽に話せる雰囲気である。	3.0
17	学校へは、余裕をもって登校させている。	2.8↓ (0.3)
18	子どもの安全には、十分気を付けている。(登下校・休日等)	3.4
19	子どもの健康管理には、十分気を付けている。(睡眠時間・朝ご飯等)	3.2
20	子どもに、毎日家の手伝いをさせている。	3.1↑ (0.5)
21	休みの日には、なるべく親子のふれあいの時間をつくっている。	3.0
22	携帯電話やタブレットなど、情報通信機器の利用については、家庭内のルールを決めて利用させている。(フィルタリングの設定やノーアクセス・アフター9など)	3.3

4 よくあてはまる 3 だいたいあてはまる 2 あまりあてはまらない 1 全くあてはまらない

今回は挨拶についての御意見をいただき、改善策を教師、生徒とそれぞれ取り組みました。今後もアンケートの結果を真摯に受け止め、教育活動に生かして参ります。忌憚なきご意見をいただければ助かります。よろしくお願ひします。

立志のつどい・記念講演会

1月15日(金)、立志のつどい及び記念講演会(薩摩川内元氣塾)を開催しました。

立志のつどいでは、厳かな雰囲気の中、「2年生決意のことば」で、各自が想いを込めた四文字熟語の言葉を書写で表現し、将来への目標や決意を述べました。その後、それぞれの保護者に、自分が書いた感謝の手紙を手渡しました。また、保護者の皆さんからも我が子に対する愛情たっぷりのメッセージがそれぞれ手渡されました。

記念講演会では下甕手打診療所の齋藤学先生を講師としてお招きし、ご講話を拝聴しました。「夢がくれた新しい夢～世界を巡り、たどり着いたのは甕島だった～」という演題のもと、実体験の話を交えながら夢を持つこと、夢に向かって色々なことに挑戦することの大切さなどを、生徒に分かりやすく教えてくださいました。生徒だけでなく、来校された保護者や地域の方々にとっても、心に響く素晴らしい講演会となりました。



2月行事

- 3 (水) ALT来校
- 9 (火) 3年学年末PTA
- 16 (火) ALT来校 下甕地域PTA連絡協議会
学年末テスト(～17日)
- 18 (木) PTA役員会
- 24 (水) 教育講演会・学校保健委員会
1・2年学年末PTA
- 25 (木) 代議員会 生徒会専門部会

3月行事

- 4 (木) 性に関する指導(2年)
- 9 (火) 公立高校入試(～10日)
- 16 (火) 卒業式・休校式
- 25 (木) 修了式、辞任式